

## 信楽高原鐵道の経営再生にかかる進捗状況等について

### 1 鉄道事業再構築実施計画について

○平成25年3月4日 国土交通大臣が鉄道事業再構築実施計画を認定

【鉄道事業再構築実施計画】

申請者：甲賀市、信楽高原鐵道、滋賀県

計画内容：①事業構造の転換（甲賀市：鉄道施設を保有して施設維持管理費用を負担、  
 信楽高原鐵道：列車を運行）【上下分離方式】

②地域による利用促進策の実施

実施期間：平成25年度から平成34年度までの10年間

実施効果：①信楽高原鐵道における鉄道施設等の維持管理費用の負担軽減

②地域と連携した積極的な増収施策等の展開による、収支均衡と安全で安定した運行の維持

○平成25年4月1日 「公有民営方式」の上下分離による運行開始

### 2 旅客輸送実績および経営状況について

○旅客輸送実績

（ ）内は1日当たり換算

	平成26年度	平成27年度	前年度比
通学定期	295,560人(810人)	293,940人(805人)	△1,620人(△4.4人)
通勤定期	54,540人(149人)	60,360人(165人)	+5,820人(+16人)
定期外	100,698人(276人)	130,078人(356人)	+29,380人(+80人)
合計	450,798人(1,235人)	484,378人(1,327人)	+33,480人(+92人)

信楽高校定員減で定期輸送客が減少したが、定期外利用の増により、旅客輸送実績が伸びた。

○経営状況

(千円)

	平成26年度	平成27年度	前年度比
經常収入	168,740	160,121	△8,619
うち旅客収入	90,182	102,423	12,241
經常費用	160,706	150,598	10,108
經常利益	8,034	9,523	1,489

上下分離方式への移行後、3年連続で經常黒字を達成。

(旅客数の増加に伴い旅客収入が増加。甲賀市からの維持管理委託料の減に伴い經常収入は減少。定期外利用客の増により、經常利益が増加)

### 3 平成27年度の主な取組について

#### ○安全な輸送サービスの確保

【甲賀市】新型車両導入（1両）、枕木交換、列車無線設備更新

【信楽高原鐵道】旅客輸送業務、鐵道施設等の保守・維持管理、地元観光イベント・旅行会社と連携した営業活動、岡本太郎展覧会入場券と乗車券の共通チケット販売（陶芸の森と連携）、「うしかい」田んぼアート（地域と連携）、新型車両出発式、ふれあいハイキング（JR西日本と連携）、鐵道沿線修景（植栽等）事業

#### ○経営改善・合理化の推進

【信楽高原鐵道】経営改善委員会、人件費の縮減、経費節減

#### ○鐵道の利用促進（情報発信力とブランド力の向上）

【信楽高原鐵道】「新春伊勢参宮」、「陶製干支切符」、リサ・ラーソンラッピング列車（マイキー・トレイン）の運行・記念切符販売（陶芸の森と連携）、ふれあいハイキング（JR西日本と連携）旅行会社と連携した団体客誘致（名鉄観光）

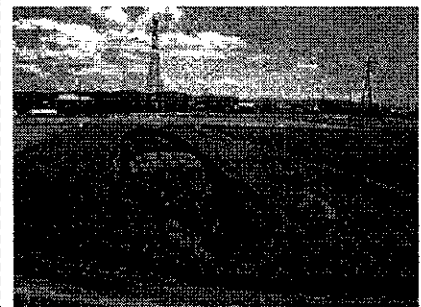


【新型車両出発式】（H27.10）

### 4 平成28年度の主な取組予定について

【甲賀市】新型車両導入（1両）、車庫改修、枕木交換、列車無線設備更新

【信楽高原鐵道】旅客輸送業務、鐵道施設等の保守・維持管理、地元観光イベント・旅行会社と連携した団体客誘致、「にんじゃえもん」田んぼアート（地域と連携）、「まちなか芸術祭」記念切符販売（陶芸の森と連携）



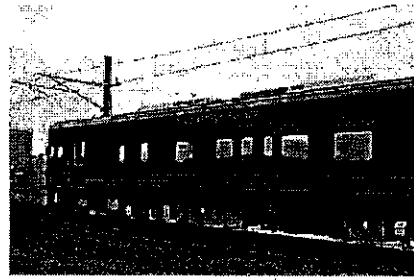
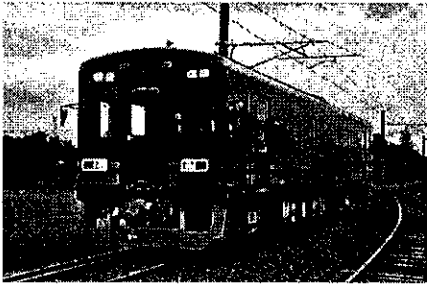
【にんじゃえもん田んぼアート】（9月現在）



【信楽まちなか芸術祭記念切符】

## 新型車両「(仮称)SKR-501」の概要

- 1 車両形式 SKR500形式
  - 2 導入車両 1両
  - 3 運行開始日 未定
  - 4 製作会社 新潟トランス株式会社
  - 5 製作費用 183,600,000 円(税込)
  - 6 車両の特徴 昨年導入したSKR401号と同型車になります。
- (1)外観デザイン 昨年導入のSKR401号の外観デザインと統一感を持たせます。



～外観写真(写真はSKR401号)～

### (2)室内デザイン

信楽に観光にお越しいただく観光客の皆様に沿線の風景をお楽しみ頂き、また列車の進行方向に対して前後方向を向いて座るため、着席時の快適性も確保できることからクロスシートを採用します。

また、401号と同様に側壁には木目調化粧シートを使用し、また床には茶色の木目調敷物を使用します。

### (3)主な車内装備 昨年同様の仕様を搭載します。

#### 【安全関係】

- ・油圧シリンダー式衝撃緩衝装置
- ・ブレーキの二重化
- ・TICS(情報制御装置)の搭載
- ・運転台からの指令を全て電気制御に変換し、故障や空調情報などをデジタル化しコンピューターで一括管理するシステム

#### 【バリアフリー関係】

- ・ドア開閉予告チャイムの搭載
- ・車椅子スペースの設置
- ・乗降口を90mm広くし、ノンステップ化

#### 【インバウンド関係】

- ・室内表示板を英語対応化

### (4)主要諸元

項目	内容
車体	鋼板
サイズ	車体長18000mm(最大18500mm)
定員	110人(うち座席47人)
台車	空気ばね式2軸駆動ボルスタレス台車
出力	243kW(330PS)

